

【第1回開催レポート_かごしまSwitch 未来企画室】

開催日時：2018年9月8日（土）10:00～16:00

場所：みなと大通り別館6階会議室

参加者数：26名（欠席は9名）

内容：

1) 市民協働課 濱田課長よりご挨拶

2) オリエンテーション（＝今日の目的 ①未来企画室の目指すところを共有する）

●皆さんへのお願いを共有

①積極参加（反応3割増し）

②前向き参加（やわらか発言）

③リラックス参加（飲食・入退室自由）

●アイスブレイク

場と身体と緊張などをほぐしていくために、簡単なゲームを行う

●今日の目的の共有

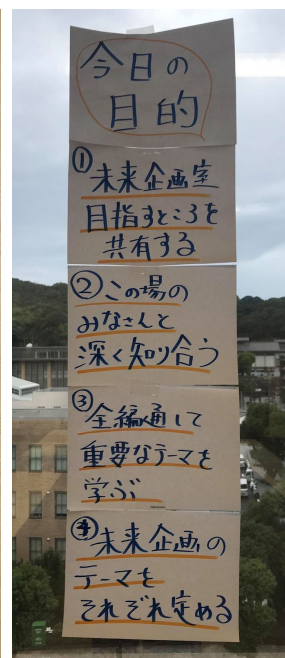
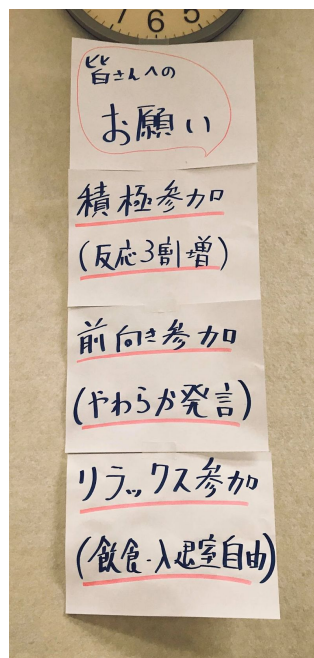
まずは第1回の目的を共有。約6時間の中で進めていくプログラムがそれぞれどんな目的のもとでやっているのかを都度確認していく。

①未来企画室の目指すところを共有する

②この場の皆さんのことを深く知り合う

③全編通して重要なテーマを学ぶ

④未来企画のテーマをそれぞれ定める



●60秒近況報告

3～4人グループをつくり、おひとり60秒で自己紹介兼近況報告を行う。話す内容は、

①お名前/呼ばれたい名前、②普段やっていること、③この夏最大のグッドニュース

3) インプット（＝今日の目的 ③全編通して重要なテーマを学ぶ）

鹿児島天文館総合研究所Ten-Lab理事長の永山由高（ながやん）より講演。

「人口減少社会のなかで、なぜ地域づくりが必要とされているのか。人口論やTen-Labの事例をもとに知る。」

課長のご挨拶と

インプットの内容 →

（要点のみ）

※当日のインプット資料

（投影資料）について必要な方は、「永山投影資料」を別途ダウンロードいただけます。

また次回以降、投影資料については毎回会場に掲示します。



4) ファシリテーション講座-前半- (前向きな話し合いのためのファシリテーション技法) (=今日の目的 ③全編通して重要なテーマを学ぶ)

これからチームとして様々な対話の機会をつくるにあたっての技法として、話し合いを合理的かつ効果的に"運用する"方法を習得する。

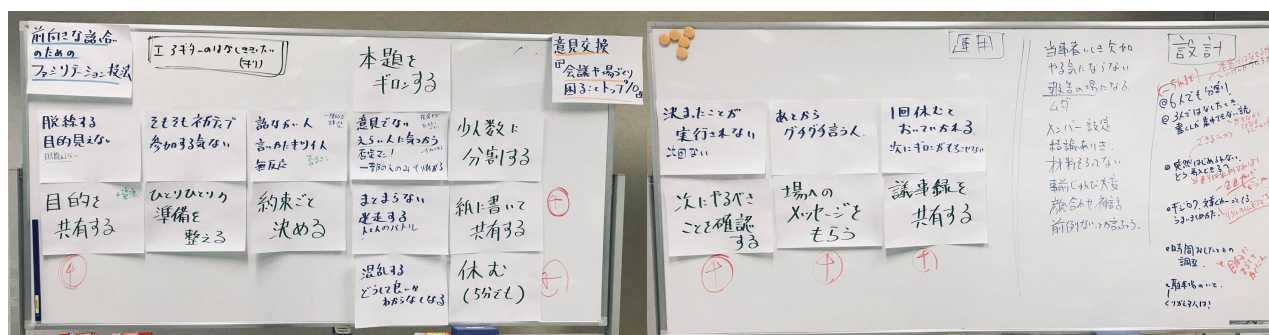
①「ファシリテーション」とは？

ファシリテーションには様々な定義がある。またファシリテーターによって、ファシリテーションの考え方もやり方も様々。そんな中でTen-Labが考えるファシリテーションの定義とは、「場の全員の参加を最大限に確保し、目的達成に貢献すること」。

②3～4人グループで意見交換「会議や場づくりでの困りごとトップ10」を決めてもらい、どんな意見があがったかを全体で共有する

③会議や場づくりのあらゆる困りごとを解決する10個の技術についてご紹介

板書内容： ※ファシリテーションに関する資料2点は別途ダウンロードいただけます。



5) ファシリテーション講座-後半- (場の引力を高める共感コミュニケーション技法) (=今日の目的 ③全編通して重要なテーマを学ぶ)

会議の"運用"前の"設計段階"での困りごと、例えば「当事者意識が欠如している」「ただの報告の場にしかっていない会議」「結論ありきの会議になっている」等。"運用"に関するファシリテーション技術を身につける以上に、場を開く前の"設計段階"を整えていくことのほうが大変だと感じるひとも多いのでは？

会議や場づくりをする前に「そもそもなぜこの場が必要なのか？(意図の確認・在り方)」が重要。

①NVCとは？の共有

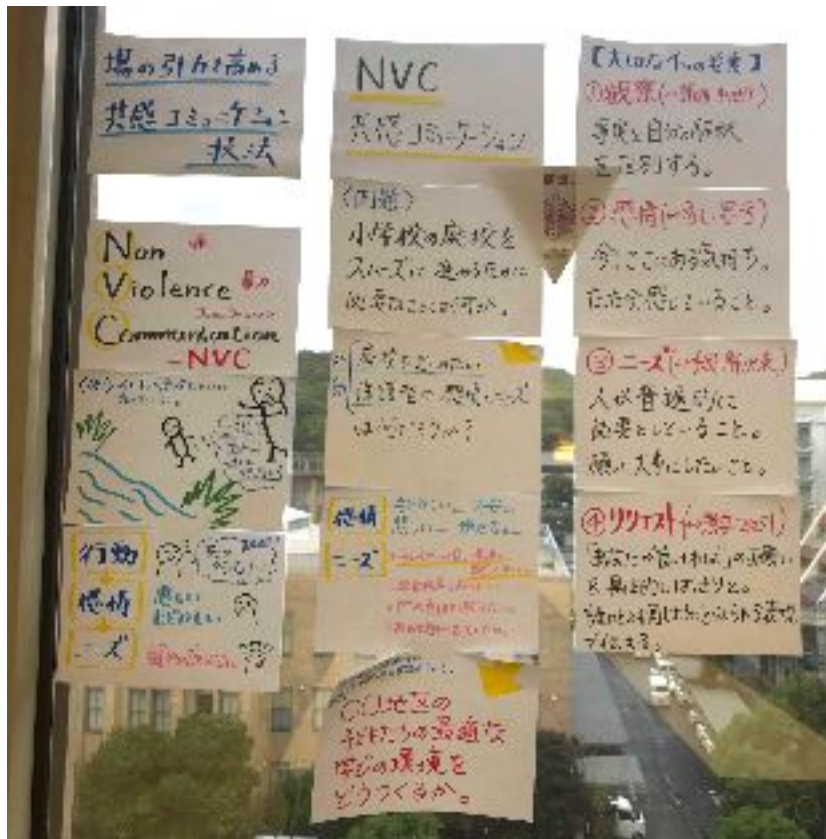
Non Violence Communicationの略。非暴力コミュニケーションあるいは共感コミュニケーションとよばれる。コミュニケーションにおいて、相手とのつながりを持続けながら、お互いのニーズが満たされるまで話し合いを続けていくという、共感を持って臨むコミュニケーションの方法。

②NVCの考え方で大切にしたい「感情」と「ニーズ」について考える

感情とは、「嬉しい」「悲しい」「楽しい」「悔しい」など。では「ニーズ」とは、人間が普遍的に欲しているもの(=願い)のことをいう。

ワークの中では、ある例題をもとにそこに込められた感情とニーズについて推測する。そこで出てきた感情とニーズをもとに、より周囲から共感を得られるテーマ設定を考えることができる。

板書内容：



6) ワーク「人生を振り返る」(＝今日の目的 ②この場の皆さんのことを深く知り合う)

それぞれの人生を振り返り、その内容をこの場にいる皆さんと共有することで、よりお互いを深く知り合うための時間。

- ①まずは1人で「この出来事（体験）があったから、いまの自分があるなあと思えること（＝印象的な出来事、人生の転換点など）を歳を追うような順番で最大5つまで書きだす
- ②3人グループをつくり、振り返りの内容を1人5分ずつ共有する

7) ワーク「目標をセットする」(＝今日の目的 ③未来企画のテーマをそれぞれ定める)

2つの問いについてまずは1人で考える時間。

- ①自分が未来企画室を通して実現したいこと（実現したいことが明確にない方は、「こんなことができたらいいなあ」というふわっとした内容でもOK。あるいは具体的にやりたいことが見えない方はやりたいことがある人の応援者にまわるのも良し。）
- ②未来企画室を通して、いま所属している組織（チーム）や取り組んでいること（事業）のなかにどんな変化を生み出したいか（未来企画室を終える時に、こんなふうになっているといいなあという理想の未来を想像する）

⇒1人ひとりの目標をA4-1枚にまとめる。次回以降、全員の目標を毎回掲示していくため、その時の自分の思いを見返しながらプログラムを進めていく。

6) 今日の感想を共有

参加者全員で一元をつくり、1人30秒ずつ「いま感じていること（今日の感想）」についてぐるりと共有して終了。

当日の様子：



以上